京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年

本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通(電話六六三)

發行所　京城新報社

新案令の要點

韓國特許令、意匠令、商標令は昨年八月より施行せられたるも實用新案令は是等と同時に施行の運びに至らず去る十一月一日より始めて施行せらるゝ事となりたるもの多かるべく茲に大要を說明して參考に資すべし

日本に於て實用新案法の施行せられたるは明治三十八年の事にして其目的とする所は發明として特許法により保護する程度のものにもあらず又意匠法により保護すべき趣味美觀を主とする考案にもあらず一種の簡易なる發明にして實用上利便多き新奇の考案多くあり之を無保護に放任するは考案者の爲めに甚だ遺憾とする所にして又產業の進步發達を計るの途にあらずとして一種の簡便なる保護法を設け此種の實用的新案を保護するにあり由來年を經ること僅かに五年に滿たずと雖日本特許局に於る最近の出願數は月に千餘件の多きを示せり韓國の如き各般の產業幼稚なる地方に於ては此種の考案保護の途を開くは產業促進の上に必らず裨益する所多かるべく韓國實用新案令の施行せらるゝに至りたるも此理由に外ならず然して韓國實用新案令は韓國特許令等と同じく昨年締結せられたる韓國に於ける工業所有權及著作權保護に關する日米條約に基くものなるを以て其適用を受くべき者の範圍は日本人韓國人及米人に限らるゝものと知るべし(未完)

地方通信

▲群山通信

▲群山全州間の道路開通以來運輸頗る頻繁を極め候昨今貨物運搬用として六十臺餘の牛馬車と旅客交通用に十八臺の馬車を見るに至り候從つて從來の人肩馬背によりし時は群山より全州邑內まで一人の旅客運賃(荷譜及馬にて)三圓乃至四圓貨物運賃二十貫に付一圓五六十錢乃至二圓の高價を支拂ひしに車輛開通以來旅客運賃一人二圓四十錢貨物運賃二十貫に付七十錢內外にて輸送さるゝに至り候即ち旅客交通及び貨物輸送に至大の便益を得るに至り候

▲次に羅浦より臨陂に通ずる新道路は同地の韓人有志等相計つて敷地人夫等凡てを寄附して目下工事着々進涉中に有之候故是又遠からず竣成の豫定に有之候(群山通信員)

▲新義州通信

▲最近の市況　當地の對岸なる安東縣に於ける各組にては既に安奉線工事請負の第一回取下金もあり旁市場は早くも活況を呈し來り候當地にても之が影響を受けて漸次景氣の恢復を見るは喜ばしき現象に有之候而して架橋工事の設計は人道を設くることゝ相成候故竣工の曉は安義間の交通の利便は言ふ迄もなく引いては經濟關係は益々密接に相成可申とと存せられ候從つて新義州の繁榮の中心點は現在の場所より移動可致必ずこれが變動を見るや近きに可有之候當地方の機敏なる企業家は既に其要地の買占に腐心奔走を初め候尚聞く所に據れば今後最も重要なる地區は現市街より架橋點に至る間にして當地民團役所にても玆處に模範的市街を建設するやの計畫有之其附近一帶の地を公賣に附したるが既に各地方よりは實地踏查に來る者も不尠候(新義州通信員)

和歌募集

勅題「新年雪」

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日　本社編輯局

雜錄

○折にふれて　旭川

誰れやらの句に「夫病むで妻のもの賣る夜長哉」と云ふのがある、余は毎に此の句を思ひ浮べては泣くが常也。人の妻としては既に一大痛心事也、況んや其の妻のもの賣らざる可らざる迄に醫藥の料、炊爨の資に窮乏せりと云ふに於てをや、賣るものは夫れ何んぞ、昔し偲ばるゝ手道具、髮の飾の類か、或は又辻占、煎豆の類商ふか、何れにしても病める夫、飢ゑに迫れる兒を養ふには幵は餘りに覺束なし、さらば抑も何をか賣り何をか購げる、余が泣く即ち是故也。

又誰れやらの句に「盜人の妻病めりとや年の暮」貧しきは首無きに劣ると古人は窮ひき彼れは夫の病むが爲めに妻のものを賣り、此れは妻病むで人の垣を踰ゆ、斯の如きもの果して誰が罪ぞや、人其の人の罪なりと云はんも、幵は余りに冷酷ならずや、天の命のみと喝破し去らむか、そも又餘りに慘ならずや、世や廣ふして民や多し、斯の如き境に居るの民決して少からざるべし、加かも他は其の愚を嗤ふに急にして其情を憐れむに疎なり、其の罪を糺すに酷にして其救濟の途を講ずるもの微し、余。念此に在りて力足らず、思ふて而して徒らに泣くのみ。

第三十六席

伯山改　神田松鯉口演

さて爲朝は四五日甚右衛門方に滯在して居ましたが、固より世間を憚る身でありますから奧座敷深くへ這入つて表へも出ずに居りました、然るに御話は變つて甚右衛門の本家の三左衛門の家では、今日娘のれ美江に隣村の庄造の伜庄吉と云へるを婿に貰ひ婚禮と云ふので、村中の者を招いての大酒宴、甚右衛門夫婦も朝早くから手傳ひに參つて居る　三「アノ御美江や　美「ハイれ父樣何御用でございます　三「今日は貴樣の婚禮だから斯うやつて村中の方も手傳ひに來て下さるのに、何だつてれ前は考へて計り居るのだ、少しハキ〳〵してそろ〳〵れ化裝にでも掛つたら宜からう　美「ハイ、種々と御心配を掛けまして誠に相濟みませんが實は困つたことが出來たのでございます　三「ウム困つたことが出來た、夫れは心配なわけだが、婚禮と云ふ朝になつて何樣なことが出來たのだ　美「實は昨夜乳母の菊尾を町まで使ひに出しましたら何だか人相の惡るい男が物蔭からツカ〳〵と出て來て、乳母さん歸つたら之れをれ嬢さんに上げて呉れろつて、手紙を渡したのでございます　三「ウム何だ其手紙は……　美「外でもございませんが、蟒蛇の角造から寄越したのでございます　三「ナニ、蟒蛇の角造……　美「さうでございます、もう去年から始終妾に嫌らしい手紙を寄越すのでございますが、一度も返事を遣つたことはございません、所が昨晩の手紙で見ますると恐ろしい凄い文句が書いてありました　三「何う云ふ文句だ　美「聞けばれ前も愈々婿を取るさうだが、俺が彼の位言つて遣るのに少しも色好い返事をしたことがない、もう斯うなれば男の意地だ腕づくで明日婚禮の席へ乘込んでれ前を奪つてやるから大きい目を開いて待つて居ろと云ふのでございます　三「ウム、夫れは困つたことになつたな、惡くい角造め、近頃郡に戰爭があるので此近所のれ役人は大抵京都の方へ往つてるのを好いことにして、大層近來は跋扈する百姓の米は勝手放題に持つて往くし、金は手當り次第にさらつて往く、人の娘だらうが妻だらうが無暗に連れて往つてしまふ、實に亂暴狼藉何の位者が難澁するか知れやアしない困つたものだ、俺が武士であつたなら何樣なにも懲して遣るのだけれど、哀しいかな百姓では刀さへ持つ術も知らず困つたことになつたの、今更婚禮を中止するわけにも往かず、ハテ何としたら宜いであらう」と老の身の涙ある〳〵と泣きまするのも子を思ふ親の情、傍で聽いて居た甚右衛門も共に心配して居たか、ふと思出したるは爲朝のことだ、甚右衛門の心中では「彼の八郎殿は幼年のうちから剛膽、殊に弓矢に掛けては日本一と稱はれる方だから、一つれ願ひして見やうか」と思つたから　甚「ア、兄さんや　三「何だ甚右衛門　甚「今聽けば角造の野郎がれ美江に橫戀慕をして、今夜押寄せて來るとのこと、彼奴はなか〳〵乾兒も多いことだから迂濶手出はならねねが、然し丁度好いことがある俺の家に九州の客人が四五日前から宿つて居るが、何でも弓の名人で、一度に五人十人を射殺すことは何でもないとのこと、まあ承知して呉れる呉れぬが分らんけれど一つ往つて頼んで見てやらう　三「さうか、夫れは難有い、けれども角造の乾兒には大鮫の才造、猫又の吉之助、狐の三郎なんて剛の者も居るから、無暗に手を出して藪蛇になつても困るのだ　甚「まア何と言はしやるか、聽いて見やう、承知してさへ呉れれば草賊の五十人や百人打懲すことは造作もねねれ方なのだから……　三「さうか夫れでは一つ頼み申して呉れ　甚「ウム、兎に角れ頼みして見やう」とやがて甚右衛門は我が家へ歸つて來て爲朝の前へ頭を下げて　甚「若輩定めて御退屈でございませう　爲「隨分退屈で困る明日あたりはそろ〳〵出立しやうと思ひのふ。

京城新報

不埒極る計劃

昨二十日の京城日報紙第一面に於て、「韓人の建議に就て」と題し、[illegible] 陛下の大御心を [illegible] 我國民は [illegible] 日本天皇陛下の [illegible] 韓國民の [illegible] 伊藤公 [illegible]

[illegible]

東京電報

[illegible] 昨日此警告を見て驚き且つ憤りたることなるべく、余は斯る不埒の此の企てに向て必ずや禁止の儀命の近く發せらるべきを信じて疑はざる也。

▲桂侯の西下日程

桂侯は來る廿日東京發先づ伊勢大廟に參拜し十二月一日夜大阪に到着し二日造幣局の貨幣試驗に臨み三日大阪經濟會の招待會に臨席財政方針に就き演說を爲す筈(廿日發)

▲岩倉輔育總裁

岩倉宮相は兼ね宮中府中の政務多端なるを以て韓太子輔育總裁の任に當らしむるは困難なるを以て遠からず輔育總裁には他に適任者を選ばるべしと傳ふ(同上)

▲商法改正案脫稿

法律取調委員會にて目下起草中なる商法改正案は既に脫稿し主査會にて整理の上本月下旬法制局に回付の筈也

▲鹽田一大整理

大藏省專賣局は全國鹽田の一大整理を企劃し收穫少き鹽田を買收し之に代ゆるに關東州及臺灣鹽の輸入を大ならしめ以て鹽價を引上げ鹽專賣の基礎を鞏固にせんとの計畫を立て右法案を來期議會に提出すべし(同上)

▲九州幹線の全通

九州縱貫線人吉吉松間鐵道運輸明廿一日より開業す(同上)

▲陛下の御下賜金

天皇陛下は旅順白玉山表忠塔建設費として金五千圓を下賜相成たり(同上)

▲母國陛下の行啓

皇后陛下は本日上野蠶絲工競技會へ行啓御買上品あり(同上)

▲鹿兒島開通式

本日鹿兒島人吉間線路開通式を擧行す朝野の紳士數萬人參列し無前の盛況を呈したり(同上)

▲兇變實狀の寫眞

伊藤公が哈爾賓に於て悲慘の最後を遂げられたる活動寫眞は當時恰も同地の一寫眞師が着驛の光景を撮影せんとて待構へ居りし折柄同列車が哈爾賓に着し露國藏相との會見模樣、兇漢が七連發の短銃にて伊藤公を狙擊したる實況、公が列車に運ばるゝ迄悲痛なる光景を撮影したるものにて絶大の珍品として各國同業の間に競爭激烈なりしが今回ジャパンプレス、エゼンシー賴母木氏の手に一萬五千圓にて買取せられた、而して同氏は來月十日東京に到着の筈(同上)

歐州電報

▲本野大使の歸期

駐露本野大使は去る十五日莫斯科發十二月上旬歸朝する旨其筋に電報ありたり(同)

▲丁抹皇族の渡日

丁抹ワルデマエル親王は羅馬に向け出發せり同國より更に日本に赴むくべし(二十日着)

▲英議會の解散說

英國在野黨首領ランスダウン卿は十一月二十二日の會議に於て豫算案否決の動議を提出すべきを公言し統一黨は大多數を以て之に贊成すべく斯くして政府は議會の解散を命ずるの外途なかるべく總選擧は明年一月施行せらるゝならんと(同上)

▲芬蘭議會の解散

芬蘭議會は解散せられたり(同上)

▲ペ僧正暗殺さる

ベルカッコ僧正は無政府黨員の爲め爆烈彈を以て殺害せられたり(同上)

大連電報

▲兇漢豫審終結せず

安重根に係る審問は溝淵檢察官主任となり監獄內に於て法廷を開き今取調中に屬し一二の取調結了の上島田判官豫審を開廷すべし日取等未定にて豫審決定せしと云ふは事實無根なり(二十日着)

奉天電報

▲日清懸案の內容

小池奉天總領事は伊集院公使と打合せの上歸任直ちに錫總督と交渉開始する筈なるが交渉案件は日清協約に基く撫順、烟臺兩炭坑並に南滿安奉兩沿線の鑛山に關する案件にて總て清國政府の提案にかゝるものにて安奉沿線守備兵問題は交渉中に含まざるも清國は本問題をも速かに解決せんことを希望しつゝあり(二十日着)

報

韓皇帝の御親電

▲我陛下への御親電 今回我陛下の御思召により岩倉公爵に韓太子補育總裁の事務を執るべき旨仰出されたるに對し十九日韓帝より左の意味の御親電を發せられたり

陛下が岩倉公爵をして我が太子補育總裁の事務を行はしめらるゝを敬承す陛下が常に我が太子の教育に懇篤なる叡慮を加へさせらるゝは感荷措く能はざるところ今又岩倉公爵をして我が太子の薫陶に當らしめ賜ふ誠意周到滋々感激の至りに勝へず茲に謹んで感謝の意を表す

▲韓太子への御親電 昨日韓帝より韓太子へ左の意味の御親電を發せられたり

天皇陛下が岩倉公爵をして卿の補育總裁事務を行はしめらるゝは陛下の懇篤なる叡慮に出でさせられたるなり卿克くこの叡慮を奉戴して勉勵怠る事なかれ

▲岩倉公爵への御親電 陛下より岩倉公爵へも左の意味の御親電ありたり

今回公爵が我が太子補育總裁の事務を行ふの大命を奉ぜられたるを感謝し其の能く補導の任に當られん事を屬望す

現行森林法の改正

現行の韓國森林法は不備の廉尠からず且つ此不備に乘じて所謂利權屋なるものが空擧を以て渡來し種々の因緣情實を辿りて運動を試むる樣實に頻繁に堪へざるものあり加之韓國の如き赭山徒らに突兀たるのみにて若し此儘に放任せば森林の發達は億兆年河清を待つに均しきを以て農商工部にては此際森林法を改正して目的の庶幾に適應せしむ可く目下立案中なりと聞く

紀念牌の除幕式

昨年來暴徒の爲めに斃れたる軍人警官の爲め全羅南道光州に於て紀念碑建設中のところ今回落成したれば來る二十八日除幕式を行ふ由なるが松井局長代理として群山署落成式へ出張中なる今村警視同地より光州に赴く筈なりと

陸海武官の謁見

今二十一日午前十一時昌德宮に於て第二艦隊司令長官出羽中將其他將校及び第六師團長木越中將甲斐副官と元間島派出所長齋藤大佐以下に謁見を給ふ由

●安奉線輸送の困難

安奉線改築工事のため滿鐵自身に要する諸材料は固より間接請負業者其他によりて使用さるべき建築材料及び日常の物資輸送にいつては廣軌多少の開通を見るとするも山間の工區に亘りて遺憾なく之れが輸送をなさんは到底現在の鐵道のみにては及び難く來春に入り工程漸く盛況を呈するに至らば固より本年中と云へど若し他に何等か別途の輸送計劃をなすにあらざれば差當りての支障は云ふまでもなく斯くて空しく冬期を經過するに於ては雪解後直ちに取り懸るべき工程を遲滯せしむること多大なるべく此冬期中にはセメントのみにて少くも數十萬樽を輸送し置かざるを得ず之れに諸他の物資を取捌かんこと現狀にては頗る覺束なく滿鐵にては之れに對し頻りに考案中なりと

●平壤地方の烟草作

平壤地方に於ける烟草の主要なる產地は成川郡にして一箇年の產出額は八萬斤乃至十三万斤を算し次は谷山郡の五萬斤乃至六萬斤陽德郡の五萬斤乃至六萬斤なるが其質韓葉としては比較的好良の方なるも日本葉に比すれば數等劣れるの感あり種類は主に柳葉及び劍先葉に屬し韓人は從來之を刻まずして其儘喫用せしが價格は五六十匁約十錢位にて市場に賣られしも漸く日本式に化し韓人自から刻機械を購入し製造し其製造烟草は昨今一丸約廿匁七錢五厘位なり而して同地附近一帶に於て韓國煙草の栽培に適するを以て其筋にては今後是れが栽培に就ては能う限り獎勵すべしと云ふ

●見馴れぬ米人入京

米人ウキンなる者一昨十八日午後十時二十分京義線列車にて南大門驛着入京し直ちにアストルハウスに投宿せり彼はハーバートと無二の親友らしく居を大連に構へハーバート在京中は屢々書信往復交換し何事歟頻りに劃策しつゝありしものゝ如かりしが過日明石參謀長渡滿の際ハーバートは突如として大連まで追蹤し更に轉じて上海に赴き再び引返へして大連へ歸航北行せるに彼れウキンも亦奉天迄同行し內地より相別れて安奉線を經由來韓せるものなり

●牛皮輸出益々好望

牛皮に對する日本よりの需用は日に盛んにして既に仁川の如きは本日迄の輸出昨年同期間に比し四萬圓の增加を示し今尚日增に好氣配を示しれるが其主なる需要の品質は茶色薄白の中皮以下にして之等の產地は平安道及び忠淸道なるが目下の價格三十八圓より四十圓の間に取引かれ京畿黃海江原產は前者より約二圓の安價なり尚夏皮と稱する筋は依然三十三圓見當にて支那向大皮は普通三十一二圓の低位なりと

●韓人向きの雜貨品

時節柄韓人向雜貨需要品を聞くに例年賣行能き襯衣手袋及頸卷の嗜好は最近ライトの模造尤も好評なり殊に一打六組八圓五十錢臺の賣行能く手袋は莫大小製九十五錢より二圓迄なるが頸卷韓人向需用は極々最近に屬し未だ需要盛んならざれ共毛織物にて一個八十錢より三圓五六十錢乃至六圓位にて色合は各地尤も捌け能く皮類需用極めて尠し

●關野博士等の講話

來る二十三日午後一時より南大門通鐘路手前廣通館に於て建築所長官荒井賢太郎氏發起となり今般關野工學博士、谷井文學士及び栗山工學士の一行が度支部の囑託を受け去る九月以來韓國古代建造物並に藝術史學に關する調査の爲め各地巡回中京城に立寄られたるを以て右三氏に請ひて講話會を催す筈也

●釜山民團植林獎勵

目下絶影島、頭松半島、岸南半島の約一千町歩には已に夫々植林樹栽に着手中なるが釜山民團にては今後植林事業の有益にして且つこれが增殖の急務なるを自覺せしか尚更に大新洞九德山下國有山野約四十二萬坪に植林せんと計劃

[illegible] し目下農商工部大臣に向け其未墾地貸下し認可申請中なりと云へり

●仁川一銀引繼開始

第一銀行仁川支店は昨二十日限り廢止し其帳尻を以て韓國銀行に引渡したるが今二十一日より三日間委員立會の上帳簿其他の檢査引繼を受くると共に來る二十四日より更らに營業を開始せらるゝ筈因みに日本支店金庫事務は引繼中と雖も特に取扱ひを爲すべしと云ふ

●第二艦隊仁川着港

出羽海軍中將の率ゆる第二艦隊旗艦吾妻以下秋津島最上の三艦は既報の如く昨日正午旅順より舳艫相啣んで仁川に入港碇船中なるが之より先き信夫理事官宮木稅關長岩崎民長は港外に同艦隊を出迎へ民團よりは歡迎の意を表し乘組員一同に湯札若干宛を寄贈す

●釜山港の貿易狀態

釜山昨今の主なる貿易品を擧ぐれば輸出は新大豆の出盛り時季となり米は漸く減少の姿となりたり輸入は新大豆の上作にて且好價なる故に韓人購買力漸次增加し來り金巾、木綿、紡績糸の輸入額々として盛況を呈しつゝありと

●國是遊說團の演說

國是遊說團常議員姜華氏は全羅北道全州に於て全州郡民を集め目下黃白人競爭の秋にして排日的行動など取るべき時期にあらねば宜しく親日の實を擧げたしとの旨を以て一場の演說をなしたるが聽者は頗る感動したる由なりと

●漢城府地方費事業

漢城府は地方費の事業として新たに教員講習會及び實業夜學會を創設する筈なるが前者は漢城師範學校教員を聘して体操算術の科目を講習し後者は一般子弟に低級の實業的教育を施す由なるが本年中の教育獎勵費は四百圓位なり

●仁川演武堂の建設

仁川警察署長宮舘警視の主唱に係る演武堂建築計畫を聞くに總工費は千五百圓の豫算にて位置は日本公園を充て一般より醵金するの豫定にて近日中に具体的成案を發表せらるべしと云へり

●仁川民團會計檢査

仁川民團前助役横山謙氏は會計役を兼務せしが一昨日青木加藤稻田の三會計檢事委員は右收支計算の檢査を爲すと共に民長に事務の引渡を了したりと

●北洋總參議の來韓

淸國北洋總參議ジョセイア氏一行四名は來る二十二日午前八時四十五分馬關より釜山に着し直に京城に向ふ旨十九日參謀本部より軍司令部宛電報ありたり

●地方費の豫算會議

地方費の實施と共に衞生土木に關する費目多きを以て本日午後一時より內部關係各課の主任者を會して意見を徵し今年度の地方費豫算會議を開きたり

●年末賞與金の調査

韓政府各官衙は年末賞與下給に就き各官署の勤怠成績調査中なるが之が爲め近來頗みに事務の進捗著るしと云ふ

●英國總領事の來任

英國總領事ボーナア氏は不日京城に來任する旨其筋に向つて電報ありたりと

●木內次官の元山着

北韓視察の途に就きし木內次官は廿日元山に到着したる旨來電ありたり

●慈惠醫院長の招待

內部岡次官代理松井警務局長は新任慈惠醫院長を廿一日京城ホテルに招待す

民長問題の混戰

民長後任問題は其進行倍々難澁し左往右行恰かも兩頭の狼狽するに似たり今此消息を摘記せんに民會議員等の態度は別項所報の如く有志會の希望に應じ候補推撰を爲すに決したり而して其の朝議暮改の態度は如何に議員の無定見を表彰し斯くても尚は市民の撰良かと疑はるゝ程なりと雖も兎に角有志の希望と稍く接近するに到れるは喜ぶ可き事に屬す然るに又市民中には彼の有志會なるものを目し同會は一部有志の集合に過ぎず故に全く輿論を代表す可き有志大會を催ふさんと寄り〳〵協議の結果昨夜歌舞伎座に於て有志大會を開き希望を決議したる由更に又一方に於ては民長官撰令撤廢期成同盟も蹶起せんとし目下民長後任問題に對するならんとし市民の意向は四分五裂して孰れが眞正なる輿論か局外者は判別に苦むの混戰を極め居れり(電通)

民會議員の協議

有志會實行委員の交渉に對し責任ある回答を與ふ可く開催したる昨夜の民會議員協議會は既報の如く午後六時より集會し十時に渉りたるが今其模樣を聞くに出席者は二十名の內二名缺席し紛議援出容易に決する能はず中には飽くまで前說を頑守せんとする執拗なる議員ありしを以て斯くては協議の目的を達し難く且つ責任ある答辯を爲すに由なしとし多數決に依り一致の意見を纏むる事となり其結果有志の希望を容れ候補者を撰出せんと決したり而して是が推薦に就ては詮衡委員を設けて撰定せしむる由なるが何れ他日再會の上更に協議す可しと

●全南地方通信

●全南の道路起工● 全羅南道海南より康津、長興、寶城、順天、光陽を經て江東に通ずる卅五里の急設道路の改修費廿一萬圓の支出は已に決定せしかば內部土木局にては直ちに材料の購入を爲し遲くとも今月中に工事に着手する筈なり

△扶安財務署新設●● 今般度支部令を以て古阜財務署管轄區域なりし扶安郡に井邑財務署を改稱するの件發表したるが右は扶安郡を古阜財務署管內より除きて獨立せしめ扶安財務署を新設し井邑財務署を廢して之れを古阜財務署管轄區域內に加へしなり

●石田支店長葬儀 十八銀行仁川支店長故石田信一郎氏の葬式は豫定の如く廿一日午後二時東本願寺別院に [illegible]

●技師事務官出張 十九日仁川出帆の群山丸にて度支部事務官吉田格之及び同技師須藤素の兩氏は群山に赴 [illegible]

●荻野博士の着發 北韓視察中の [illegible] 博士は十九日新義州發目下平壤滯在 [illegible]

●日下義雄氏入京 第一銀行重役日下義雄氏は十九日入京天眞樓へ投宿

●須藤事務官出發 平壤財務監督局事務官須藤素氏十九日全州へ向ひた [illegible]

▲治外法權▼

警察權の不統一に就ては從來屢々本紙の論議した所である、今回伊藤公遭難事件に就て滿洲方面は明石少將の手で極め韓國は石塚參與官が極め以て事務の統一を計ることゝなつたらうである、斯ることは今回初めて知れたと云ふ譯で無い既に〳〵知れ切つて居た筈で一つの仕事を憲兵隊と警察との二つの名義の下に取扱ふと云ふ程不便は無い將來は仕事の分界を立つる樣當局者反省を望むで止まぬ▲本年の議會には種々なる韓國問題が現はれるであらう從來とてもチョイ〳〵問題は出たが伊藤公と云ふ大きな石で抑へられて居たため遠慮せられて居たのは事實だ、サテ伊藤公が亡なつた今日となつては遠慮なくドシ〳〵と現はれるであらふ、出て來る奴は一つ目小僧か見越入道か▲末松子爵は韓館教育を辭職したが昨日の京城日報には同子は太子教育に異見を挿み且つ今後の上傍觀するの利あることを報じて居る是れは伊藤公死後の教育方針に變ることを云ふものか、何にしても今日となつては英親王の教育振に左樣に神經的に考ふることはある▲キチナー元帥が東京に於て女嫌の看板を徵したと云ふので京都では樣に元帥を招待すべく洛陽一粒選の美人を集めて置いたにも不拘遂に [illegible] がなかつた、元帥とても矢張り世評は氣にかゝるものと見ゆる▲民設候補問題は愈々ゴチャ〳〵にて仕舞つた、是れでは當分解決の [illegible] はない、民團としては一日も民長 [illegible] る可からず、事務の澁滯も思ひやる [illegible] されば議員諸氏に在つては此際民本位として速かに該問題の解決 [illegible] て貰ひたいものである。

●宇佐川總裁の旅程 東拓總裁宇佐川一正氏一行六名は二十 [illegible]

吉凶の鏡

十一月廿一日 本町五丁目 三一館判斷 [illegible]

右は概括的判斷なり各人格別に就ては直接同館の鑑定を請はる可し



元巡査の悪手段

△後家を騙して金員を捲上ぐ

今夏京城全市に悪疫流行して酷しく猖獗を極め其筋にてはこれが撲滅豫防策に腐心したる結果遂に各所に臨時防疫事務所を增設してこれが應援として臨時巡査五十人を採用したるが茲に山口順策(三五)といへる無分別な男ありて内地を喰詰めて先年渡韓し當地に來り相變らず放浪生活を續け居たるが當時既に所持金は悉皆費消して鐚一文の蓄へとてもなく何がな良き仕事にあり付かんと毎日鵜の目鷹の眼で捜し廻るも雖ども元より素養とてもなく亦先輩の推薦や紹介もあらねば一向に職に就く事を得ず徒らに閑居して不善ぬ行爲のみ是れ事と爲し居たる折柄虎疫流行に際し警視廳臨時巡査の採用に應募して先づ試驗だけは怎やら恁やら合格して西部警察署在勤を命ぜられ青坡派出所詰となりしを同人は鬼の首も取つた樣な氣になり早くも柄にもなき役人風を吹かして非番の時は公然受持管内の料理店淫賣屋に出入して巡査を笠に着て常に無錢飲食をなし或時は比較的別嬪の居る淫賣屋に至りて公務上取調べの件ありて出張したりとて強いて酒食の饗應を受け剩へ年若き抱酌婦を殆んど強姦同樣に辱め横暴至らざるなく渠が赴任後未だ幾旬ならずして管内の良民は渠の行爲の苟くも人民保護の官吏としてあるまじきに大に憤慨して西部署長鈴木警視に連署して如上の始末を具述して良巡査の交迭を促し且つ請願するに至りたるを奸智に長けたる渠山口は早くも此間の消息を看破し何ぞ己れの職務も臨時任用に依り虎疫終熄と共に何時解職せらるゝも計り難きを曉り茲に例の惡辣手段を極度に發揮して恰かも渠か解職十日位前に管内の村岡さよなるもの質商を開業するに付其開業準備手續等萬事を青坡派出所に出張して山口巡査に問合せたるを渠は奇貨措く可しと思ひ親切ごかしに騙し込み無理無体に情を通し尚金五十圓を借りて益々奸手段を弄せんとする内渠の素行は早くも西部署長の耳に入り虎疫終熄と共に直ちに免職となりたれば山口は永居は惡事露現の恐れありとて其儘失踪れして居住不明となりしを前記サヨが派出所に山口巡査の姿見えざるを怪みて或は他に轉勤せしにはあらずかと一昨日西部署に出頭して聞きたるに同人は既に免職せられ目下の住所さへ不明なりとの事に大に驚き悄然として引下りたるが其後山口は猫を被つて漢城府の雇員を拜命し何も知らぬ顔で毎日出勤して居るが去りとは不埒千萬の雇員殿と云ふ可し

淫奔娘の成る果

▲情夫は病の床に臥す
▲藥餌の料に酌婦志願

釣瓶落して秋の日の暮るゝに間なき頃なりき龍山老松町の附近なる口入屋の前に立てる眉目美はしき妙齢の婦人あり入らんとしては躊躇ひつ又去りも得ぬ狀なりしが軈て思ひきりしとやらにツト内に入り程なく悄然として立去るを見し人の理由は知らねど唯何と無う憐れに感じつゝ其が身の上を探り見しに女は中國某地に聞へたる酒造家の愛娘にて今年十八の盛りの花も稀れなる美人なるのみか心温順に讀み書きの業さへ拙からず子持てる親の美望の的となれるにつけ其が瑕なき玉の疊だに厭ふ兩親の心を知らざるにあらねども月にも花にも感じ易き早乙女の戀に朽ちなん名をも惜まで或青年と深く契りしが此事何時か兩親の耳に入りさなきだに逢瀨まゝならぬ交情を堰かれしかば今年の春若き男女は諜し合せて郷里を落ち渡韓して龍山砂村里の邊に忍び居しが去頃より男は病に罹り起居も自由ならぬ身となりしより入費頗に嵩み原より豐かならぬ貯へ盡きて今は藥餌の料に事欠く程となり二人が貧しくとも倍に樂しく暮さん念願も茲に絶へ果てしにぞ女は哀れにも思定めし旨ありて前に記せる口入屋が許を訪れしも親の許諾を得では叶はぬ事あり女が切なる頼みも其の効なかりしといふ其後三日とは經たじ如何に成り行きしやらんど人の告げけるまゝに

投身村長の罪狀

▲公金費消公印及官印僞造

去る十六日午前七時頃對州沖にて關釜連絡船薩摩丸一等乘客の入水して自殺を遂げたることは其當時詳細報導する所ありたるが其死因を探聞するに投身者は全く前報の如く原籍大坂府下泉北郡濱寺村長古藤清(四〇)に相違なく同人は官金三萬六千餘圓の費消者にして去る十三日午前大阪地方裁判所より檢事豫審判事濱寺村役場に出張して重要書類を取調べ更に村長たる同人方に付て家宅捜索をなし證據物件を押收して一旦引揚げ更らに判檢事は同村元役場書記松浦市五郎堺地寺地町松村舊村長氷室恕同町隅谷繁次郎方にも出張して家宅を捜索したる結果同人は遂に公文書僞造官印僞造私書僞造行使及び詐欺取財の數罪俱發を以て檢擧さるゝことゝなりしより終に風を喰つて逃亡し下關より十五日夜薩摩丸に乘船し翌朝甲板上より投身したるものなりと云ふ

我は韓國の義兵なり

▲軍資金の調達を迫る

去る十一日未明黃海道海州郡檢丹面湯地洞鄭乃俊方に賊八名侵入せしが三名は洋銃四名は韓銃を何れも携へたれど主人不在なれば其儘立去り同面回仁村李德明方に侵入し同人を毆打し我々は大韓國の義兵なり武器購入の軍資金必要に付千五百圓を調達し置く可し若し命を背かば家を燒き皆斬殺すと脅迫し引續き柳應七方に押入り前同樣のことを云ふて脅迫し何處ともなく蹤跡を晦ませしが斯と急報に接したる載寧憲兵分遣所より憲兵直ちに出張取調べたる所によれば賊は他地方より入込みたるものゝ如し

燒討暴徒の逮捕

▲伊院停車場燒討の一人

去る九日太田憲兵分遣所に逮捕せられたる一賊あり該賊は去月二十九日伊院停車場を襲ひたる賊徒に加はりたる者なる事判明せしが本人の自白によれば同停車場を襲ひたる賊は首魁文大西の指揮により砲大將と稱する金成允外十四名にして同夜は南方に逃走し山中に潜伏し翌三十日の夜に至り全羅北道茂朱郡新豐方面基石里に逃走し再來郡内に出沒して討伐隊の行動を探り居たるものなりとか

●八重山鹿島の遁亡

▲龍山に於て取押らる

仁川日本公園内八坂樓の抱藝妓なる廣島市小網町生れの藝名鹿島事寺尾チヨ(一八)及び松山市生れの藝名八重山事高山シゲ(一七)の兩名は何の不服のありたるものか一昨日午後六時頃同樓を窃かに抜け出でゝドロンを極め込みたるより樓主は此の不景氣な時に玉を逃がして何とせうと樓内上を下への大騷ぎを爲し諸所方々に人を馳せて搜し求むれど共何の手掛りだになきより午後十時頃其旨宮町派出所に訴出でたるが精探の結果同夜午後八時十三分梧暇驛發列車にて龍山に赴きたる形跡あるにぞ直に龍山署に取押へ方を頼みたる處其夜同地料理店大黑樓の姉の許に潜伏し居りたるを拿捕し目下同樓員の到着を待ちつゝある旨報じたるより樓主はヤツと胸撫で下したりとか

●大擧財務署に迫る

▲五百餘名の請願者

忠清南道鴻山財務署に約五百名の韓民押寄せ隱結調査の不公平を鳴し請願する所あらんとし鴻山分遣所より憲兵現場に出張し巡査と協力是を鎭め其の舉動の不穩なるを說き相當の代表者を出して請願すべき旨懇諭し解散せしめたるが何れも其言に服し不日代表者を擇み請願せんと其儘引取りたる由一時は韓民の事とて喧囂を極めたりと云ふ

●明日の集會說教

京城基督教會は午前九時日曜學校同十時米津牧師の「夜半の消息」午後七時半同牧師の「人心の憧憬」の說教演說あり▲京城日本基督教會は午前八時半より日曜學校同十時より石原牧師の「信仰の營養」午後八時より同牧師の「基督の神觀」あり▲日本メソヂスト教會にては傳道局長平岩恒保氏鐵道の爲め平壤、鎭南浦等を巡回中の處昨日歸京せしかば本日教會に於て禮拜說教ある筈なり

●一文なしの大盡

旭町二丁目百二番戸左官職大山龜松(四〇)龍山祝町十七番戸左官職山本庄太郎(三二)同八方居留左官職尾瀨庫二(三五)の三人は一昨夜八時頃旭町飲食店松葉亭に揚り込み酒肴の注文をなし鱈腹飲食の結果六圓卅二錢の勘定に鐚一文も支拂ねず遂に南部署の厄介となつて事濟み

●渡日旅客へ注意

從來下關停車場構内に於て日韓連絡客の便を圖り第一銀行員派出の上貨幣の交換を爲し居りしも本日より廢止の趣に付き爾今日本旅客は出發前に交換し置くか又は釜山停車場内第一銀行派出所に於て交換せらるゝを肝要とすと云ふ

●憲兵賊を走らす

汶山分遣所上等兵一名補助員二名は坡州郡廣灘面防築里に於て賊魁張某の率ふる十二名と衝突し交戰約四十分に渉り數名を傷けしが賊は山中に逃げ込み時恰も日沒の頃とて遂ひに行衛を失ひたりと

●壽座の想夫憐

壽座開演中の福井伊東合同劇は十八日を以て打揚げの筈なりしを都合に依り來る廿三日迄延期したり尙は藝題は毎日替りにして今廿一日の替りは目下大坂中座に於て高田以下の大合同團に依つて開演中の「想夫憐」にして殊に福井の中野清助は曾つて道頓堀朝日座に於て好評を博したる同優の書卸し者なりと配役如左

小泉修三(伊東)召使れ玉(小泉二)清野娘後に岩崎夫人雅子(藤島)井原濱子(吉野)後室貞子(北秋)男爵岩崎一彦(小泉)中野清助(福井)

●巨魁逮捕に出張

仁川署討伐隊の手にて火賊八名を逮捕せし由は既報の通りなるが其連累者にして未だ魁とも目すべき賊は永登浦方面に潛伏し居れる由を探知し一昨日逮捕の爲め警官數名出張したり

●仁川沓洞のボヤ

仁川沓洞居住の

綿打業李布伸方店頭に於て一昨日午後一頃客人が喫烟中烟草の吸殼より火を發しあはや大事にをよばんとせしも白晝の事とて直ちに消止むるを得たるが火の用心こそ肝要なれ

●新町の健康診斷

一昨日新町遊廓に於て娼妓の健康診斷を行ひたるに機關部故障の爲め九名の入院者を出し受診者總計百九十八人の内健康者は百六十三人なりしと云ふ

●仁川の定期檢梅

仁川敷島遊廓の娼妓七十九名に對し一昨日定期檢梅を行ひたるに引續入院四名自宅休業二名洗滌を要するもの七名ありしと云ふ

●遊廓だより

一昨夜新町遊廓の嫖客は八十八人散財高三百九十三圓九十六錢

◀平民文庫▶

▲秋晴れや青竹を割る節の音(不渴)▲二十四乘生に申す御投稿都合により掲載を見合せ申候(係)▲翡翠の文之助君は伊藤公の薨去に依りて大に名聲を擧げた併し老妓はチト酷だ三十にもならないのを、だが其の不平も出ぬ程に差引いて嬉しい方が勝つてると思ひますね(自稱粹史)▲先日の官民秋季大懇親會の收支決算に依ると收入金九百廿八圓で懇親會費が百圓新聞廣告料が四十圓料理店への補助が三百五十圓計四百九十圓で殘りの四百三十八圓は雜費とある、雜費とは何んだ雜費とは、二百三十九名の會員を有する懇親會費が百圓と云ふのも判らぬ話だ一人前四十一錢何厘の御馳走とは呆れるね(桃の木)▲此程京城櫻井町の海山樓前に開店した料亭濱の家では美味い物を安く賣るから評判が宜しい(最負客)▲本庄幽蘭と云ふ女が又京城へ舞ひ込んでる樣でゝね(饒舌生)▲父の名を思はず諸國を流浪して居る女史の如きは實に憐れむべきものです(係)▲酒や醬油に毒が混じてあると聞いたので不安に堪らない當地なぞでも此れが檢査は勵行せられて居るのですかれ伺ひ致します(好酒生)▲如何ですか判りません、可成多量に飲まぬ樣になさるが宜しからう(小僧)▲本日の日曜を利用して動物園や博物館を子供を連れて御觀覽になることを世の子を持てる親御さん方にすゝめ致します(老婆心子)▲何日迄不景氣が續くことであらうか心細いことだ(一商人)▲壽座の景氣の好いのには實に驚く來る夜も來る夜も大入だ要するに勉强と云ふことは肝要なものと云ふ外はない(好劇家)▲明治町の浪華座はいつ頃開演の運びになるのですか(同上)▲歌留多會は此の頃一寸とも聞かないが何うしたのですか(への字)▲噂がない丈けで秘密に各自腕を磨いて居られる樣です油斷したら大會でもあつた時負を取りますよ(小僧)

●天氣豫報

(自二十日午後六時 至廿一日午後六時)

西の風晴

十九日(華氏) 最低溫度 五〇、九 最高溫度 二三、五

各種洗濯石鹼専門製造販賣 用途 陸軍、鐵道、船舶、旅館、鑛山、水道湯屋、散髪店、其他家庭用

京城旭町（電話九二番）

朝日石鹼製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求炊ぎ女 年四十恰好のもの至急入用 本町一丁目官舍 桐原

●店員入用 十六七歳にて確實なる保證人有者 龍山京町古田米店（四八〇）

●下婢入用 十四五歳の下婢を求む餘暇には裁縫習字讀書諸生花等女子に必用なる教育を施す 氏名在社（四七九）

●求職 年廿六簿記に經驗あるもの至急職に就きたし 氏名在社（四八二）

●ボーイ入用 十五歲以上廿歲以下數名入用 南山町三 京城ホテル

一被雇たし 年三十五普通敎育あるもの鑛山事業に多大の趣味を有す如何なる危險も不厭 姓名在社（四八三）

●被雇度 年三十三才貨物取扱及稅關手續に經驗あり英語を解す商店又は會社に雇れたし 氏名在社（四八五）

物件部

●貸家 本町通り目拔の場所にて貸家あり希望者は來談あれ 氏名在社（四七〇）

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯殿付家賃面談 氏名在社（四七八）

●貸家 北部齋洞廿九統四に安價の貸家數軒數間あり御希望の方は同所の內尾に就き問合せあれ

廣告

龍山榮町

歐米新式高等裁縫

田口洋服店

電話三一二番

龍山老松町

陸軍諸官衙御用達 建築土工請負業

磯口商店

電話一一九番

龍山若松町

島崎鐵工場

電話四四一番

龍山元町三丁目

長尾醫院

院長 醫學得業士 長尾乙二

龍山元町二丁目

佐藤病院

電話一〇三番

眼科専門

京城本町二丁目憲兵分遣所前

江頭眼科醫院

（電話三三）

前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

宮内府博物館御用

古今美術 書畫 表裝 金銀摺 紙 洋式 天井張

壽町二丁目

精勤を旨とし大勉強仕候也

表具 松月堂

明治廿［illegible］年七月創立

［illegible］海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓

京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

季節と勉强

最も御經濟なる出來合品

各種洋服 フロックコート

インバネース 婦人コート

鳶形引廻し オーバコート

改良小供防寒衣 絨製厚司

右各種多數荷揃致し候に付此際一層勉强致すべく候間多少に拘はらず御買上之程願上候

尙地方の御注文は豫め寸法御指價御申越被下候はゞ驛店取計ひ引換小包に送付致候

京城本町三丁目

田中洋服店

（電話九九三番）

伊藤公爵家寫眞係小川一眞撮影

故伊藤公爵葬儀係認可

伊藤公國葬寫眞帖

定價 全一冊金壹圓五十錢也 送料八錢

內容要目

故公最近大肖像（ダブルトーン 原カード紙）〇靈柩橫須賀上陸光景數圖〇同新橋停車場より官邸に至る行粧數圖〇同沿道雜踏光景數圖〇葬儀行粧及沿道光景十數圖〇大山東郷諸元帥棺側徒歩光景〇國葬式場全景〇元老大臣各國大使公使未亡人遺族其他文武百官參拜光景十數圖〇大井村埋葬光景數圖等大判約五十頁

蓋し伊藤家累代の記念の爲に撮影を命せられたるものなるも公の如きは一家の私すべきに非ず國民の以て記念とせざるべからざるもの强て請ふ江湖に頒つ苟くも國民たるもの速かに一本を具へて故偉人を偲ばざるべけんや

發行所 東京新橋日吉町 小川寫眞製判所

韓國特約大販賣 京城明治町一ノ四九 前島商店

追而本帖は故偉人を偲はれて非常に申込者多く來る二十日より御申込順に依り配付可致候間此際至急御申込の程奉希望候敬具

京城明治町二丁目（佛國敎會前）

辯護士 特許辯理士

岩田仙宗

電話三五四番

美術書畫 襖壁、天井張

京城壽町一丁目

桂萬吉

注文取次

年賀廣告 各種引札 掛物 暦 其他

京城大門通二丁目

興信廣告社

齒科治療

本町六丁目（徽そば隣町）

ドクトル 中村安子

木炭 堅薪 松炭 松薪

卸販賣

陸軍諸官衙 御用達 薪炭問屋

京城西大門外御成町（電話五八七）

南商會

同 南川出張所

同 龍山出張所

諸官衙納入多數御入用の節は拙者所有の山林に於て製造仕候間特に勉强致候條多少に不拘御用命被下度願上候

暖爐各種

煙突取付並ニ煙突掃除大勉强

京城本町五丁目角一番戶

電四七一番

馬木勇吉

龍山山下町兵器廠官舍道入口

電三六四番

馬木支店

廣告

澤庵漬用大根 大賣出

漬物用白菜

農商工部園藝模範場御拂下品 自園栽培

例年の通り品質特撰の上●鹽並に●糠●各種子●農具一式販賣仕候間續々御用命之程願上候 現品配達致ます廿五日より開始仕候追て御希望に依り漬込の御囑にも可應申候

京城本町一丁目（長谷川町筋）

三輪商會

電話三八六番

廿五日迄開業祝として一割引

かいきまわた

進物用眞綿、眞綿製防寒具類

京城代理店

京城本町一丁目（長谷川町へ通る）

栗永商店

開院廣告

本院は左記の時間割を以て左の諸氏に依賴し各科の診療に從事す入院の需めに應す

診察時間午前九時より正午に至る

外科花柳病科 前漢城病院長 ドクトルメヂチーネ 和田八千穗

內科小兒科 自午後一時至午後四時 前仁川病院長 醫學士 松村三省

眼科內科 自午後一時至四時 東京醫科大學選科卒業 院主 瀧澤喜太郎

耳鼻咽喉科 自午後一時至四時（但し毎月四回一日五日十五日廿五日） 醫學得業士 赤羽學

婦人科 自午後一時至四時 醫學得業士 天ケ瀨健六

龍山居留民團囑托

龍山榮町（文平山麓）

龍山醫院

會席御料理御一人前 肴四品付酒二本 金六十錢

すき燒其の外應御好

京城竹園町二丁目

遊樂樓

（元三遊樓跡）

たやすくうります

綿わた綿ワタ

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

卸問屋

京城明治町一丁目四ツ角

唐川商店

電話二六一番

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

諸官衙御用品調達

各學校御用品調達

委託販賣

東京 ランバーダ商會代理店

東京 中外アスファルト株式會社代理店

東京 千代田生命保險相互會社代理店

藤田合名會社

東京 博文館發行書籍特約店

東京 金港堂發行書籍特約店

釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）

出張所 東京京橋南鍋町一丁目 電地新橋三六九二

特約販賣

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

自製

大上商店

（電話二五一番）

和洋酒、㋭精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物、荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

日本郵船株式會社

仁川出帆廣告

電話十番

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番

郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 十一月十日午後三時出

●大連、太沽行 高砂丸 十一月十日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月七日午前六時出

●大連行 酒田丸 十二月七日正午時出

●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 立神丸 十一月十日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事

株式會社 百三十銀行 韓國總支店

京城本町二丁目十五番戶 電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 名古屋、東京、横濱、大磯、甲府、静岡、山田、桑名、半田、熱田、四日市、津

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七條、高崎

北陸道 大聖寺、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、宮津、舞鶴、新舞鶴、富山、伏木、新湊

山陰道 米子、境、松江、久手、大田、鳥取

山陽道 玉島、龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、原、廣島、岩國、福山、山口、柳井、府中、尾の道、三原、下關、萩、德山、小郡、長府、平生、牛窓、味野、岩見、岡山、新干

南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、久留米、若津、中津、小倉、門司、若松、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

長崎貯蓄銀行代理

（十八銀行京城支店）

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日步壹錢四厘）

韓國 本店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山

日本 長崎市築町 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

出張所

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

株式會社 十八銀行 京城支店

京城南大門通（電話四二〇）

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾萬圓

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候